



令和5年度自殺対策研修(J-5)

自殺未遂者支援研修

自殺未遂者に対する理解を深め、よりよい相談支援を行えるようになることをめざして、自殺未遂者特有の支援の難しさと、支援者側に起こるさまざまなこころの反応について学ぶとともに、支援者自身のセルフケアと組織的な対応についても学びます。

日時 令和5年10月20日(金) 午後2時から5時まで

場所 大阪府こころの健康総合センター 4階 研修室(大阪市住吉区万代東3-1-46)

対象 ①大阪府内(大阪市・堺市を除く)の保健所、市町村の保健・福祉関係部署で精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
②大阪府内の精神科医療機関や三次救急の医療機関職員
③大阪府内(大阪市・堺市を除く)の福祉関係機関で相談支援業務に従事する職員

[定員20名]

○講義: テーマ「自殺未遂をした人をどのように理解し支援するか
～支援者のこころの反応とセルフケア・組織対応～」

龍谷大学短期大学部 こども教育学科 准教授 赤澤正人 氏

○グループワーク

その他 申込み締切り後に受講決定通知を送付します。

[申込み方法]

申込みフォームから直接お申込みください。

(※フォームからのお申込みができない場合は、担当者までお問合せください)

①氏名 ②氏名(ふりがな) ③職種 ④従事年数 ⑤所属機関名(例:大阪府こころの健康総合センター、〇〇市保健所、▽▽町立保健センター) ⑥所属課名(例:事業推進課、予防課、障がい福祉課) ⑦連絡先(電話番号) ⑧連絡先(メールアドレス) ⑨受講動機 ⑩自殺未遂者の支援の有無

[申込み先]

こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/> (研修→自殺対策研修 →「J-5」)

申込みフォーム

<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/0b80ec9f-930a-403a-a255-08d429d7977e/start>

[申込み締切り]

令和5年10月6日(金)*ただし、定員になり次第、締切りとさせていただきます。

***受講いただけない場合は、開催日までに連絡します。**

*1 機関より複数参加申し込みのあった場合は人数調整をする場合があります。

[問合せ先]

大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当:伊藤・南・

電話 06-6691-2810(課直通)

FAX 06-6691-2814

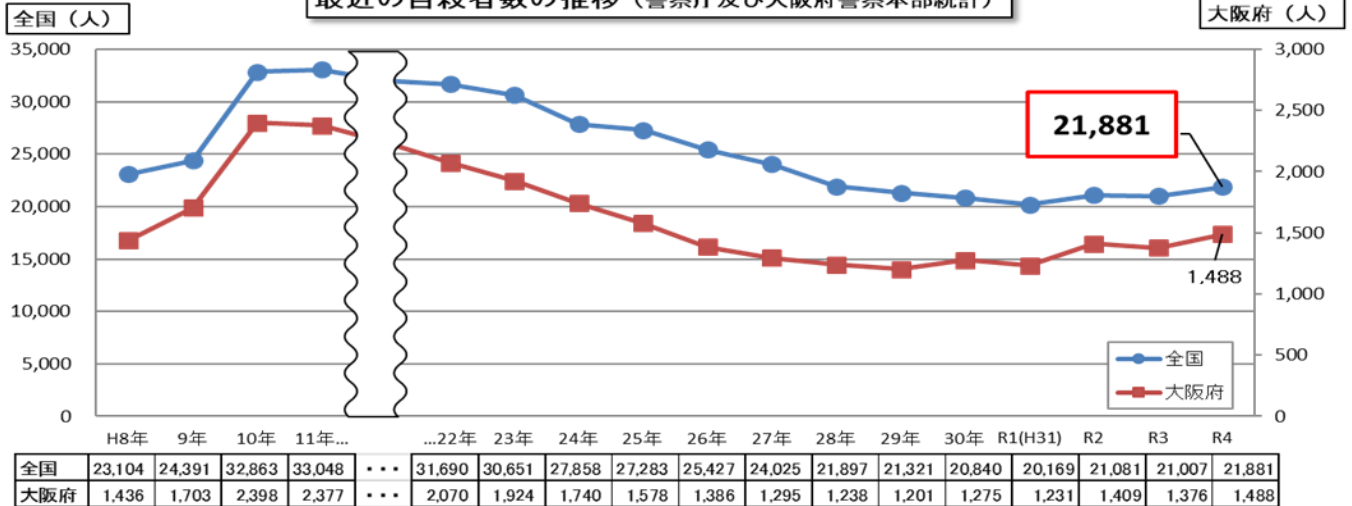
大阪府の自殺の現状

自殺の多くは、病気や障がい、慢性的な疼痛などの健康問題、倒産や失業、多重債務などの経済・生活問題、介護・看病疲れやいじめなど、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合い、「心理的に追い込まれた末の死」と言われています。自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こりうる危機」と言えますが、適切な支援やサポートによって防ぐこともできます。

生きることへの包括的な支援をするために、関連機関が相互にかつ密接に連携する必要があります。



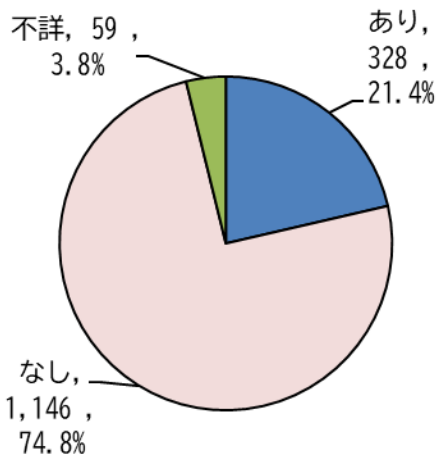
最近の自殺者数の推移（警察庁及び大阪府警察本部統計）



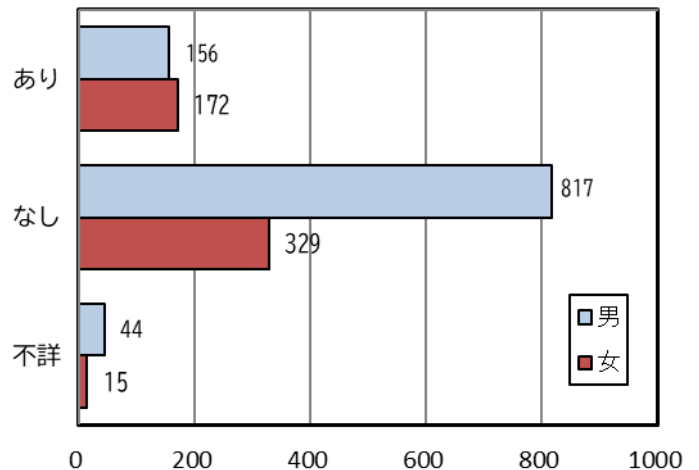
令和4年の自殺者数は、全国、大阪府ともに前年より減少したものの、新型コロナウイルス流行前の令和2年より多く、高止まりとなっています。

大阪府では、前年より112人増の1,488人でしたが、1日当たりでは4人以上の方が亡くなられており、依然としてたくさんの方の命が失われる深刻な状況が続いています。

令和4年・自殺未遂歴の有無



令和4年・自殺未遂歴の有無別男女別



令和4年大阪府の自殺者のうち、自殺未遂歴なしが1,146人(74.8%)、ありが328人(21.4%)となっており、自殺者の約5分の1の人に未遂歴があります。

自殺未遂歴がある方は、男性が156人(46.9%)、女性が172人(53.1%)となっており、女性が多くなっています。男性の自殺未遂歴「あり」の割合は15.7%、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は33.8%となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性の約2倍多くなっています。

自殺未遂歴のある方は再度の自殺を図る可能性が高いと言われているため、再度の自殺企図を防ぐ支援が求めら